

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カルビー(株) 西日本事業本部 広島はつかいち工場

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市木材港北10番20号

(3) 業種

その他のパン・菓子製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準として令和7年(2025)年度から
令和12年(2030)年度までの6年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続的な社会づくりに貢献します。

特に環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者の方々のごことも配慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 環境方針

1. 環境に関する法令、条例等を遵守します。
2. 人々の健康や地球環境に配慮した安全な商品の提供に努めます。
3. 地球温暖化につながるCO2の排出抑制に努めます。
4. 自然の恵みである原料を無駄なく活用するとともに、廃棄物および水使用の削減を目指します。
5. すべての従業員で、環境保全に取り組めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 25（ 2013 ）年度	令和 6（ 2024 ）年度
二酸化炭素	5,130	6,452

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 （ ）年度	令和 （ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 （ ）年度	令和 （ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5,130	15.7	806	4,324
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	5,130	15.7	806	4,324
温室効果ガス みなし排出量		—		4,324
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1.0%の削減率 電気は中国電力（株）の実排出係数を使用			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産製品重量(トン)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5,130	12,291	0.420	16.7	4,324	12,291	0.350
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	5,130	12,291	0.420	16.7	4,324	12,291	0.350
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	生産効率の向上	検証中	設備稼働率を高くして、生産する 各種バイパス配管の有効利用
2	電気使用量の削減	検証中	高効率の最新機器に順次更新 LED照明器具への更新 不要設備・不要照明の撤去
3	燃料使用量の削減	検証中	高効率型GHPに順次更新 無駄なボイラー運転の抑制 排熱の有効利用
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1	該当なし	
2		
3		

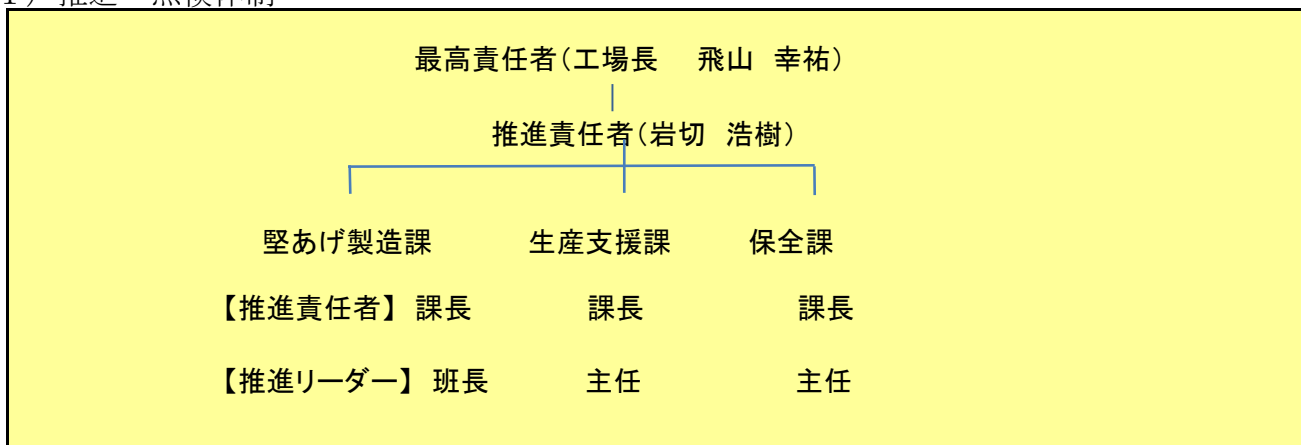
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	検証中	分別収集及び資源化の徹底 不良発生防止
2	リサイクル率の向上	検証中	廃棄物のリサイクル化
3	その他		社会貢献活動 森林保全活動

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎月の温室効果ガス削減効果の実績を把握、点検・評価及び問題点の検討を行う。
全社的には毎月の二酸化炭素排出量を報告し、目標との差異など評価・検討を実施し、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

工場内掲示板にて毎月の進捗状況を掲示する